

## 「南大沢スマートシティ実施計画 Ver3 ～計画の深度化・まとめ～」を公表します

南大沢スマートシティ協議会では、「スマート東京」の実現を目指し、地域の課題に即した先進的な取組を実施してきました。

この度、これまでの取組内容の最終とりまとめとして「南大沢スマートシティ実施計画(以下「実施計画」という。)」Ver3を公表いたします。

### 記

## I 実施計画の概要

### (1) 実施計画策定の背景と目的

南大沢地区は、「スマート東京実施戦略(令和2年2月公表)」で、先行実施エリアとして位置づけられ、都は同年10月に地元八王子市や都立大、通信事業者など産学公連携による協議会を立ち上げました。

協議会での議論を踏まえ、最先端の研究とICT活用による住民生活の向上が融合した持続可能なスマートなまちを目指し、モビリティ、まちの賑わい、情報等のまちづくり施策の計画案、社会実装に向けたロードマップである実施計画を策定しています。

### (2) 実施計画 Ver3 の位置づけ

令和2年度から年度ごとに実施計画を策定・公表し、意見募集で頂いたご意見等を反映するとともに、実証実験の実施と評価等を行い、計画を深度化してきました。

実施計画 Ver3 は、3か年の最終とりまとめとして、各施策の社会実装に向けた具体化、ICTインフラの方向性の記載等を行いました。

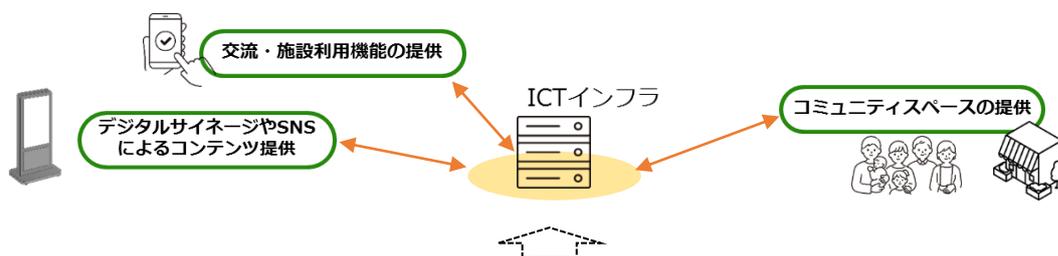
なお、これまで公表した実施計画は、地区の目指す将来像を示した「南大沢駅周辺地区まちづくり方針(令和5年3月策定)」にも反映されています。

## II 実施計画 Ver3 のポイント

### (1) 社会実装に向けた施策の具体化

#### 〈具体案1〉 オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成

まちの賑わいにおける、デジタルサイネージやSNSによるコンテンツ、交流・施設利用機能、コミュニティスペースの提供



(交通、行政、イベント、コミュニティ等に関する情報)

## 〈具体案2〉 駐車場満空情報等の提供サービス

駐車場の満空情報や位置等の情報の提供



### (2) ICT インフラの方向性

- ・ ICT インフラ構築の目的、構築に向けた論点とサービス要件、実現に向けた展開を記載
- ・ ICT インフラを構築・提供することで、各種サービス（アプリ）を個別に開発・提供するだけでは実現が難しい利便性の向上や新サービス・機能の提供、ビジネス機会拡大とマネタイズを実現



### (3) 実証事業の効果検証等

- ・ 令和4年度に実施した「①電動キックボード、②デジタルサイネージ、③3Dデジタルマップ（ARナビ）」の実証内容と効果検証を記載

### (4) 新たな運営体制

- ・ 令和5年度以降の協議会・部会の運営体制、新たな実証事業を進めるための制度の創設を記載

## III 今後の展開

- ・ 令和5年度以降は、協議会・部会の事務局を東京都から株式会社多摩ニュータウン開発センターに変更し、引き続き、南大沢スマートシティを推進していきます。

## IV 実施計画 Ver 3 の閲覧方法

- ・ 都市整備局ホームページの下記リンクに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

[https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami\\_osawa.html](https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bunyabetsu/machizukuri/minami_osawa.html)



本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。

戦略9 都市の機能をさらに高める戦略「地域特性に応じたスマートなまちづくりの展開」

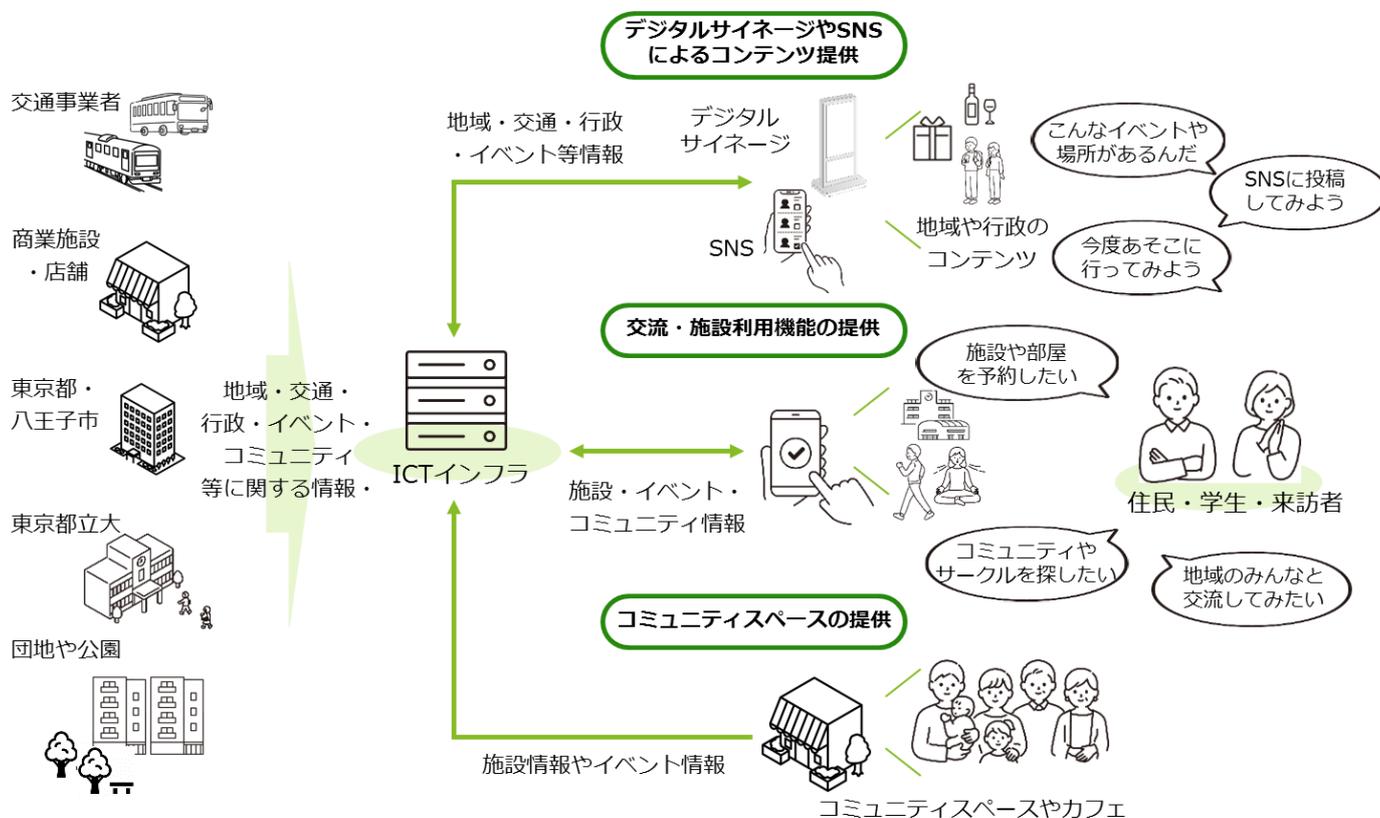
戦略10 スマート東京・TOKYO Data Highway 戦略「TOKYO Data Highway プロジェクト」

《実証計画 Ver 3 の章構成》

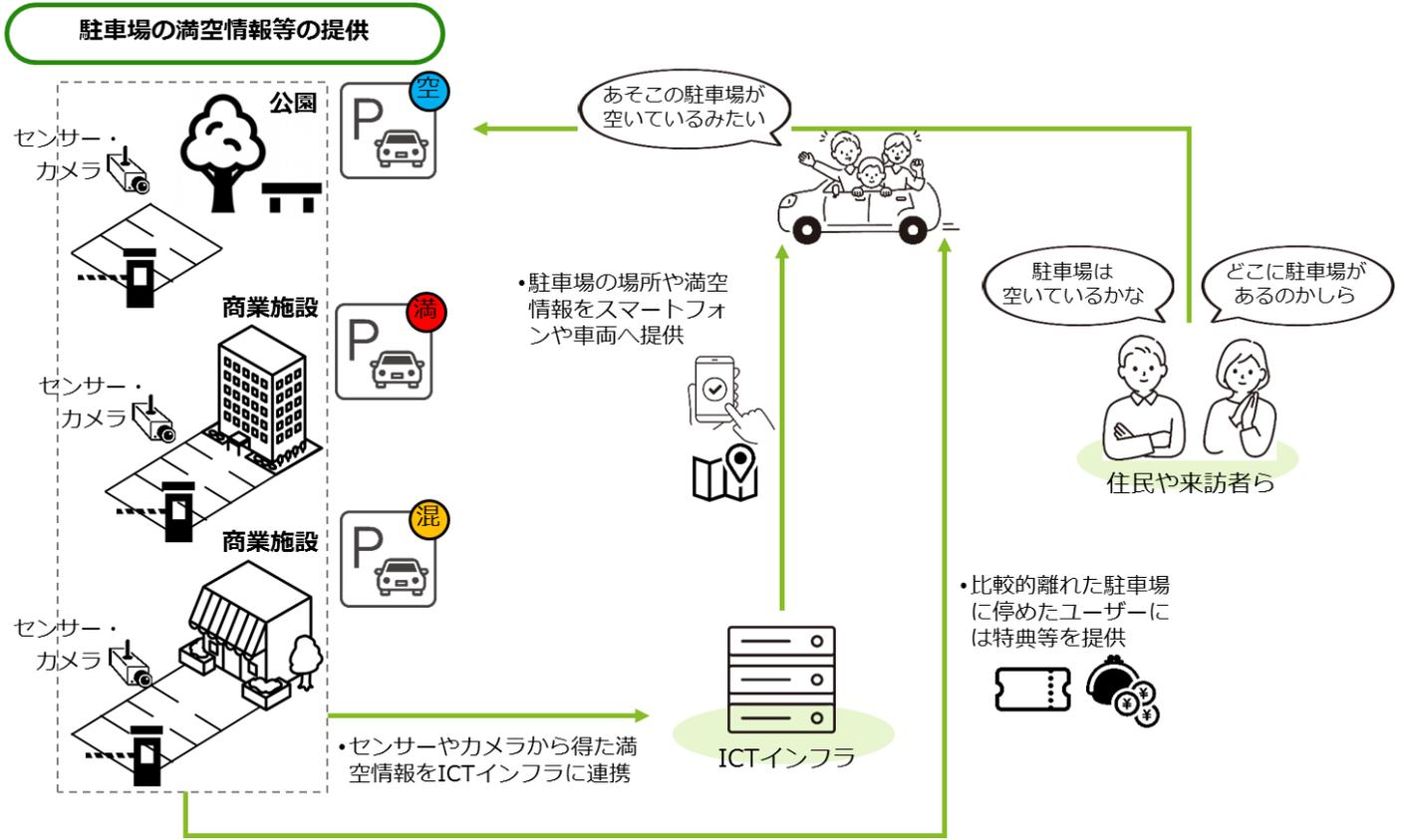
1.概要	• 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲
2.地域の概況	• 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 • データの更新・補足の分析追加、内容の見直し等を適宜更新
3.地域のニーズ	• 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲
4.地域の将来動向・計画	• 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 • 関連する将来計画等（まちづくり方針等）を追加・更新
5.地域の課題	• 基本的にはこれまでの実施計画の内容を踏襲 • 「その他の課題」のコロナ禍に関する記載を更新、駐車場の課題を追加
6.スマートシティの今後の方向性	• ビジョン・コンセプトはこれまでの実施計画の内容を踏襲 • R4年度の実証事業及びサービス企画で扱った施策を適宜追加
7.実現イメージとロードマップ	• ①MaaS、②オンライン・オフライン融合コミュニティ形成、③地域ポイント、④その他（駐車場満空情報等）の具体イメージとロードマップ
8.ICTインフラの方向性 <b>新章</b>	• ICTインフラ構築の目的、構築に向けた論点とサービス要件、全体像と展開
9.実証実験	• R 4 年度の実証事業（電動キックボード・デジタルサイネージ・ARナビ）の内容と検証結果
10.実施・運用体制	• R 5 年度以降の運営体制の概要
11.今後の展開と課題	• 今後の課題について追加すべき内容を適宜追加
補足.実施計画（これまでの実施計画の内容）への意見と対応	• これまでの実施計画の内容に対するパブコメの概要と対応方針
参考資料	• 先進事例（会津若松スマートシティ等）・各検討内容の詳細等

《令和 5 年度以降の社会実装施策のスキームの提示（抜粋）》

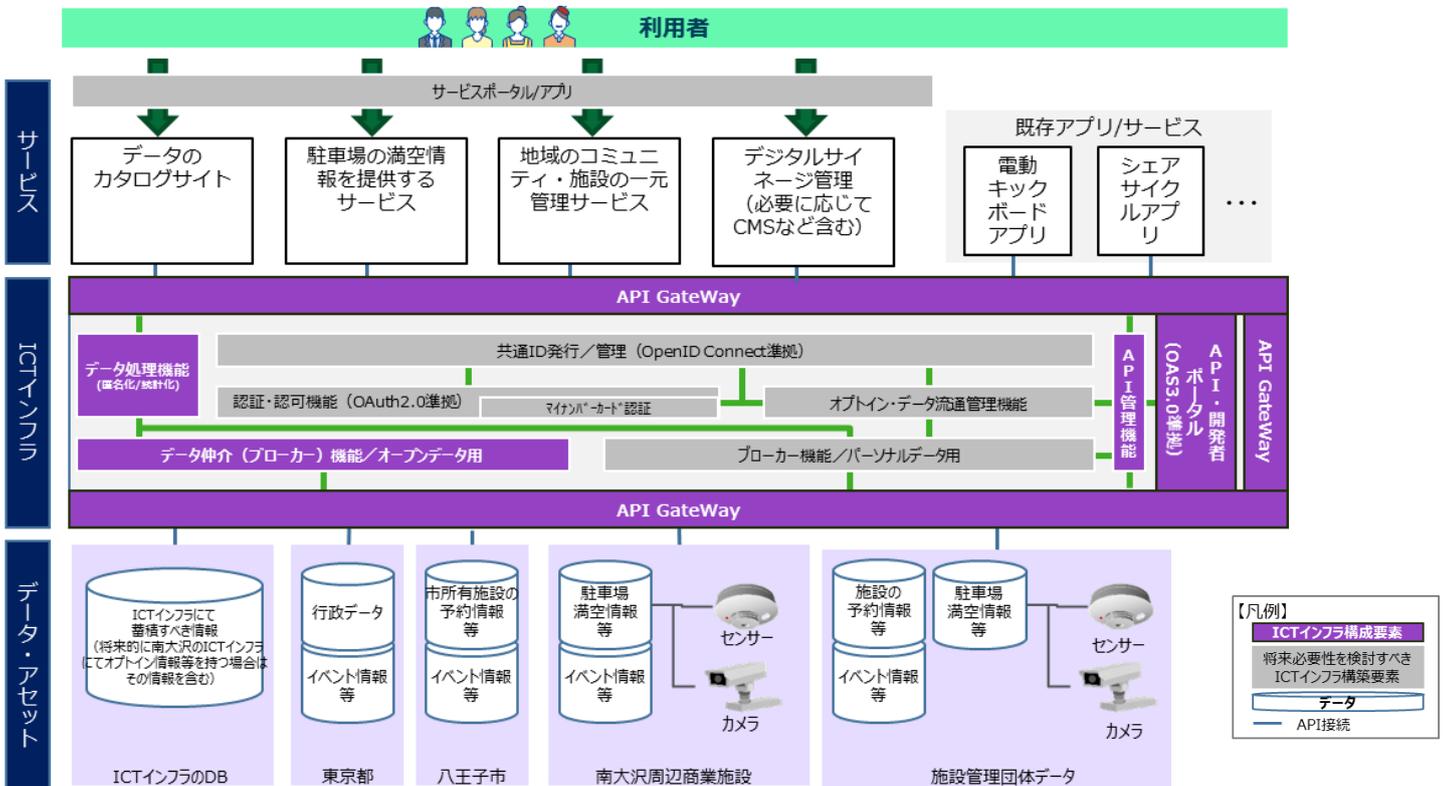
〈具体案 1〉 オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成



〈具体案2〉 駐車場満空情報等の提供サービス



《ICTインフラの全体像》



《ICT インフラ構築の展開》

		中期			2030年
		2023年度～	～2026年度	2027～2029年度	
ICTインフラの提供主体		南大沢スマートシティ協議会を核とした事業者 プロモーションを通じて事業者への参画団体・企業が徐々に増加			
サービス	アプリ	地域情報（公共） MaaS（個別） 地域コミュニティ（個別）	地域情報（公共+民間） MaaS（共通） 地域コミュニティ（共通）		
	サービス（提供主体）	協議会の既存メンバーである団体・企業ら	新たな団体・企業がサービスとして参画		
データ	やり取りするデータ	オープンデータ中心 （地域の公開情報・地域コミュニティやMaaS情報等） パーソナルデータ（実証）	オープンデータ+ パーソナルデータ（南大沢の住民・学生の各種情報）		
	データの利活用案	サービスの本格実装に注力	蓄積したデータを活用した 既存サービスの高度化	蓄積したデータを活用した 新サービスの構築・提供	
ICTインフラ	機能の概要	オープンデータを取り扱える 最小限の機能 ・ポータル（カタログ）機能 ・駐車場満空情報等の提供機能 ・アプリとのデータ連携機能（API）	パーソナルデータを扱う機能を追加 ・オプトイン・セキュリティ機能 ・データの分析機能 等	他都市・エリア連携の機能を追加	